

2024年度 東京応化科学技術振興財団 個別報告書 02

開催日時	2024年7月14日								
開催場所	城山公民館								
実施内容	青少年ふれあい事業（バルサ紙飛行機、キッツキ遊び、種モデル）								
来場者	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	計
バルサ紙飛行機	8	4	15	5	14	8	7	1	62
キッツキ遊び	8	1	14	3	11	6	4	1	48
種モデル	6	3	6		8		3		26
スタッフ	8名								

1 概要

城山公民館青少年部会の企画で夏休み前の子どもたちを対象に青少年ふれあい事業「おいでよ!!あそびのひろば」が開催された。1階の全フロアを使って、本会の理科工作の他にゴム鉄砲づくり、ヨウヨウ釣り、ストライクアウト、プチ縁日が各ボランティア団体によって実施された。そのため、来場者は低学年が中心で、ほとんどが保護者同伴であった。

2 実施内容

会場は廊下の突き当りの多目的室だったため、来場者がどれだけ来る危惧されたが、思った以上に来場者があり、入れ替わり立ち代わり来るので休憩を取る余裕がないほどであった。

①バルサ紙飛行機：各部品を糊付けして組み立てれば出来上がるように計画してあったので1対1で工作の指導ができ、糊が乾く間には完成品を使って飛ばし方の練習をさせることができた。そのため幼児や低学年でも手際よく作り、飛ばすことができた。

工作が得意で完成品を見ただけで説明なしに作ってしまった4年生男子が筆頭で、自分から作りたと思う積極的な子ばかりで、頼もしく思えた。

②キッツキ遊び：何だろうと興味を示し、完成品の動きを見て小2以下の子どもが楽しみながら作り高学年や中学生も関心を示してくれた。今回はスライドでの紹介ができなかったが、スライドを活用して子どもたちに考えさせと更に探究心を湧きたてたことと思う。

③種モデル：上の2つに比べて来場者が少なかったのは、部屋の奥に机を配置したことで子どもたちの足が向かなかったことによると思われる。しかし、参加した子どもたちは一様に楽しんでいたので、期待通りに成果があった。これもスライドを利用できれば子どもたちに考えさせ、探究心を引き出させることができたことと思う。

3 課題点など

一部屋で3テーマを実施するには少々せまく、混雑してしまった。次年度も実施のようなので広い部屋の用意を依頼したい。児童が三々五々やってくるので、休憩が全く取れず昼食は順番に済ませる必要があり、全員が食事を済ますのに1時間半かかってしまった。

この形式で実施するにはスタッフの数を増やす必要を感じた。

